

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

すかし葉



プログラムの概要

この活動は、自然の中から木の葉や木の実を集め、斜め切りされた白樺の木の枝の上にそれを貼り付け、その上からボンドを塗って密閉し、壁掛けを作るものです。

自然の中にはたくさんの種類の樹木や草花があります。植物の種類によって葉や実の大きさや形は様々です。その中から自分のお気に入りのものを選ぶ中で、自然の細かいところまで目を向ける感性が培われます。

できあがったものは、世界に一つだけしかない自分だけの素敵な飾り物になります。

所要時間：1.5時間～2時間

すかし葉

1 活動のねらい

- ・材料集めをととして、様々な形や色の葉や花・実があることに気づく。
- ・素材をいかしたクラフト制作をととして、自然の中から得られる温もりや自然物の良さを体感する。
- ・友達の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを認め合う。

2 活動のフィールド

- ・自然の家周辺どこでも可
- ・100人位まで

3 準備品

団体・個人で用意するもの：斜め切りにした板と紙やすり（売店販売「壁掛けセット」
レーニス、木工用ボンド、古新聞、牛乳パック等の硬い紙
自然の家で用意するもの：きり、工作板

4 活動の手順

(1) 事前学習（自然の家に来る前の学習）

- ・特に必要なし

(2) 少年自然の家での活動

①自然の家周辺の森で材料を採取します。

- ・自分の気に入った葉っぱや小枝、木の実などの材料を拾い集めます。
※植物も生きているので採取する葉の数は必要最小限にします。

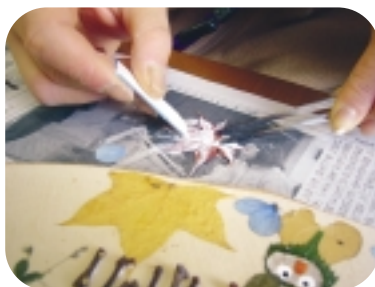
②キャンバスとなる板にやすりをかけてなめらかにします。

③採ってきた葉などの材料を並べ、デザインを考えます。



④ 葉などの材料の裏に薄く木工用ボンドをつけて、板の上に貼り付けていきます。

※この時、葉と板の隙間に空気が入らないようにぴったりと張り付けましょう。また、枯れた古い葉は、もろく崩れやすいので注意が必要です。



⑤ 貼り付けた葉の表面が空気に触れないように、葉や枝の上を木工用ボンドで塗り固めます。

※ボンドを延ばす時は、牛乳パック等の硬い紙をへらにしてやるとよいです。

※ボンドはできるだけ薄く延ばすと乾燥に時間がかかりません。

※ボンドは葉の部分だけでなく、板の表面全体につけた方がきれいに仕上がります。



⑥ お好みに応じて作品の表面全体にスプレーニスをかけて仕上げます。



- ⑦できあがった作品は、立て掛けて置いてもよいし、ひもを付けて壁掛けにしてもよいです。完成したら互いの作品を鑑賞しましょう。



ふりかえりの活動（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう。）

- ・工夫したところや、特に頑張ったところを言ってください。（ふりかえり用紙があれば書かせましょう）
- ・友達の作品を鑑賞して、よいと思ったところを教えてあげましょう。
- ・自然の中から材料を見つけ作品をつくってみて、どんなことに気づきましたか。

（3）事後学習（学校に帰ってからの学習する内容）

- ・特になし

5 活動上の留意点

- （1）ボンドを厚く塗ると乾くまでに時間がかかるので、ニスを塗る作業は翌日にするか、学校へ戻ってから仕上げるということも考えられます。
- （2）枝を採取する際には、ヤマウルシに触らないよう事前にヤマウルシそのものを示す等して、十分に注意を促しましょう。

ねらい別活動プログラム集「すかし葉」

発行日：平成18年2月28日

発行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編集：濁川明男（上越教育大学教授）

執筆：阿部一之（国立妙高少年自然の家専門職員）